

# 報 告 誌

発 行 者  
香川自治会広報委員会  
印刷所 (有)スエカネ印刷

## 市総合防災訓練の実施

### 湘南地区防災組織が中心となって



倒壊家屋から救出する人たち

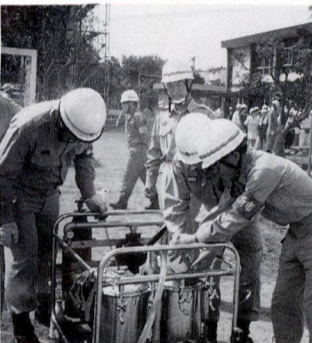
平成五年度の茅ヶ崎市総合防災訓練が「防災の日」の九月一日、午後一時から三時まで、湘北地区自治会自主防災組織が中心となり、約一千人が参加して、鶴が台小学校校庭で行なわれました。

十二時二十分、香川小学校校庭に、参加者たちが集合。十二時四十分頃、警察官、市交通指導隊に誘導され訓練会場に行きました。この訓練は、災害対策基本法、大規模地震対策特別措置法、地域防災計画等に基づき、大規模な地震が発生した場合に、市防災関係

### 主張

現在の香川自治会は約三千世帯、人口一万人をかかえる市内第二の巨大化自治会である。

近時、自治会としては大き過ぎ、情報伝達が大変であり、遅くなり、会員に対して緻密なサービスが行き届かない。従って、現在の四つの町内会を独立させるべきではないか？との意見をまた耳にするようになった。実はこの議論は平成二年度に当時の自治会長が「規約改正特別委員会」を設け、「現在の四つの町内会を独立させる」ということについて諮問している。その当時私もその討議に参加したが、香



ろ水機の訓練

機関及び地域住民が一体となった災害応急対策の実施と、防災意識の高揚を図ることを目的としたものです。

九時三十分、駿河湾沖を震源域とするマグニチュード8の大地震が発生し、本市は震度6の烈震に襲われ、多数の負傷者、家屋の倒壊、電気、ガス、水道、電話、道路橋梁などが被害を受け、さらに各所で火災が発生したという、発災対応型訓練でした。

現地対策本部が設置され、避難誘導の完了を本部に報告。道路橋梁等復旧用重機が集結し、茅ヶ崎建設業協会の人によって訓練が行なわれました。

津波警報発令、防災行政用無線で伝達。カンパンが緊急輸送されなければ、何の効果も期待できないと思う。(これは、現時点においての課題でもある。)

しかし、現実的に四つの町内会を独立させた場合、各々が真に個性をもった個性豊かな、きめ細かい活動を展開させていくことができるのだろうか。自治会の運営、管理の問題等、煩わしくてもクリアしなければならぬことがいっぱい生じてくることは明らかである。また、香川地区を全体として考えなければならぬ点で、横のつながりをどうするか。とい

### 四つの町内会を独立させるメリット

川地区内の各町内会長を始め、広い範囲での意見を聴取し、集約した結果、「与論の機が熟していない、現時点においては時期尚早である。」旨の答申をした記憶がある。

確かに、巨大化の自治会を分会し、軽量化して、情報社会にふさわしい活性化を計ることは、現在要求されていることかも知れない。それには先ず昔のしがらみからきてい入る入りくんだ町内会境を解りやすい境とし、全面的に組の編成替えをして、一〇世帯前後に細分化し

避難者に配給されました。

破損水道管の修理、給水栓設置、赤羽根から運搬した飲料水を防災タンクに給水。二台のろ水機で汚水がろ化される様を見学、試飲。非常炊飯器で調理された赤飯を避難者たちが試食。

医師一名、看護婦二名、市職員二名によって、心肺蘇生法の実技指導が、マネキンを使って、体育館内部で行われました。

街頭消火器による初期消火訓練は、みな使いなれていて上手にできました。



負傷者を救護所へ搬送

建物(仮設)が倒壊し、下敷きになっている者(人形)を救出、三角巾で応急手当を施した後、担架及びリヤカーで救護所へ搬送しました。

通信施設応急復旧訓練。建柱車により倒壊、傾斜している電柱を機械工作車で建て直し、ケーブル線の応急復旧工事を行うとともに会場に臨時特設公衆電話二回線を開設させ、避難住民が工事完了後通話する訓練を実施。

地震によりビル火災が発生し、ビル屋上及び三階から逃げ遅れた救出救護訓練をしました。

古式消防保存会の人々が半鐘をならし、トビを持って現場にゆき、救出作業をしました。

プロパンガスの緊急輸送を協力員が配管の応急結合工事を行ないガス燃焼器具を設置しました。

東京電力の方たちによって、建柱車、高所作業車等により傾斜電柱を建て直し、断線箇所の改修後、発電車からの送電による点灯訓練を実施しました。

## 地震災害 救援金の報告

自治会長 古谷金政

去る八月七日と八日の納涼大会会場で、北海道南西沖地震災害「救援金」の募金を呼びかけましたところ、大勢の皆さまのご協力をいただきました。なお、クラウン香川店にも募金箱を置き、協力していただきました。その内訳と合計は次の通りです。

一、夏祭り会場にて(二日間) 一〇〇、九三七円

二、青少年育成協議会より 一〇、〇〇〇円

三、体育委員会(自治会)より 一、〇〇〇円

四、香川グリーンスタースより 五、〇〇〇円

五、クラウン香川店にて

### 海岸清掃に参加



ゴミを燃してきれいに

八月二十九日(日)、午前六時半自治会館出発。茅ヶ崎海岸の美化清掃活動に役員が参加しました。台風一過の海辺には、藻塩木やゴミがたくさんあり、焼却したり、空き缶、空き瓶を収集しました。防波堤附近やテトラポットの中には、缶やびんがゴロゴロ。利用者のマナーの悪さが歎かれました。

人たちを救助隊が救出し、救急隊により応急手当を施した後、救護所へ搬送し、医師会救護隊が応急医療を行いました。

火災延焼防止訓練。消防署及び消防団による火災の延焼防止を目的とした消火訓練を実施。

今年も関東大震災から七十年たちますが、北海道南西沖地震や鹿児島や普賢岳などの風水害、災害なども現にみえており、最高気温が三〇・五度という暑さの中で、多勢の人が汗だくになりながら大規模な訓練を熱心に見学しました。

起震車体験には、幼稚園児も参加、子供たちも行列を作って震度5から7までを体験しました。

合計 二二、二六一円  
一三九、一九八円

早速八月十二日に、日本赤十字社の窓口になっている、市の福祉総務課へ届けてまいりました。ご協力ありがとうございました。

# 雨に悩まされた納涼大会

## ……模擬店は大繁昌……

台風の影響で天候が不安定だった納涼大会も、予定通り八月八日・九日に行われました。

雨を心配しながらの開催でしたが、演技中は何もぬれずにすみませんでした。

今年はやぐらが古宮守大工さんによって、りっぱにできあがりしました。

太鼓保存会の人たちのたたく、撥の音にあわせて、子供会や婦人会、一般の方もぎやかにおどった。また模擬店も開かれました。

各団体の出店は、スポーツ少年団がホットドック、アイスコーヒ、ウーロン茶、ヨーヨー釣り、水飴、当てくじ、東子供会がフランクフルト、トウモロコシ、オモチャ。推進協が綿飴、ラムネ、体



模擬店おおにぎわい

育委員会が焼きとり、商工会が輪投げをしました。

待望のアイスも八時すぎに配られ、みな喜んでいました。

最後は全員で炭抗節を踊って二日間の大会の幕を閉じました。

反省会では、テープの巻戻し器

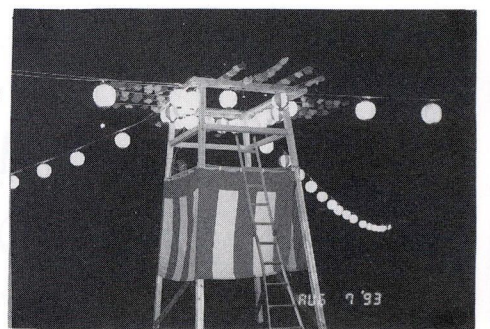
がなかったもので、時間をとり間があいてしまった。来年はスムーズに曲が流れるようにしたい。

踊り手の方では、一息つけたので間合いは丁度よかったといっていました。

仮装は、本部の前だけでやっていたので、一般の人には見えず残念だった。みんなに見えるように工夫してほしい。

車の整理に困った。近くの人は車を遠慮してほしい。

などの声がありました。



新しいやぐら

# 納涼大会に

## やぐらを新調

納涼大会に用いるやぐらが、古くなり、太鼓を叩く人たちが使いにくいというので、古宮守さんが松でりっぱに作って下さいました。

上で、太鼓保存会の人たちも、精いっぱいがんばりました。

費用は十五万円。製作に二日余りかかったそうです。

高さ3.8m、巾1.7m、がっちりして、永年使用に耐えるものです。木の香もかぐわしいやぐらの

# 過去最高の応募

## 環境ポスター展

環境ポスター展も十回目を迎えて過去最高の255点が応募。特別参加作品として東子供会、みどり幼稚園児あき子さんが出品。標語は北子供会三年熊沢修司君の

○きれいな町はみんなで作る

○みんなでもまろうゴミルール

○みんなどまろうゴミルール

○みんなどまろうゴミルール

○みんなどまろうゴミルール

作品をみての感想を来場者に伺うと、「みんな一生懸命考えて苦労しているのだから、全員に参加賞をだした方がよい。」「金銀銅各一点でよい。」「審査を公平にするために、審査員全員が揃って協

議してきめた方がよい。」「鉛筆書きだけで入賞しているのはおかしい。真白で何が書いてあるのかわからない。色をぬって苦労して入賞しなかった子供たちがかわいそうだ。などの声がありました。

### 入賞者氏名

賞別	学年	子供会	氏名
金賞	二年	東	松原 優香
銀賞	三年	間門西	斎藤 聡之
特別賞	五年	間門	大野 亜矢子
特別賞	六年	北	小松 寿美代
銀賞	一年	北	田村 浩一
銀賞	二年	北	遠藤 ゆき
銀賞	三年	北	安藤 寛
銀賞	四年	北	河崎 淳
銀賞	五年	北	稲田 由紀
銀賞	六年	北	坪川 正樹
銀賞	三年	仲通り	木内 岳史
銀賞	四年	北	高部 綾
銀賞	五年	原西	高部 綾



賞別	学年	子供会	氏名
銅賞	四年	東	松原 俊
銅賞	六年	北	三浦 雪美
銅賞	二年	北	熊沢 咲耶
銅賞	二年	北	三戸 善裕
銅賞	一年	仲通り	杉山 西
銅賞	一年	仲通り	大宮 郷太
銅賞	二年	北	竹内 史恵
銅賞	二年	北	小島 有香里
銅賞	三年	仲通り	関根 健太
銅賞	四年	北	田中 由紀子
銅賞	四年	北	竹内 健
銅賞	四年	北	山崎 美佐子
銅賞	六年	北	島津 典子
銅賞	一年	間門	坂田 晃生
銅賞	五年	北	岡部 将人
銅賞	二年	間門西	渡辺 真利子
銅賞	三年	北	安田 恭行
銅賞	二年	原東	時田 寛子
銅賞	三年	北	岩口 剛広
銅賞	三年	北	於保 裕希
銅賞	五年	北	杉野 直博
銅賞	二年	東	川口 愛理
銅賞	六年	北	花元 ゆかり
銅賞	二年	原東	荻沼 篤
銅賞	二年	原西	角田 優美
銅賞	三年	北	高杉 健史
銅賞	二年	仲通り	北川 智也
銅賞	三年	北	桑原 佑介
銅賞	四年	北	鳥谷 尾直子

賞別	学年	子供会	氏名
努力賞	三年	間門	廣瀬 あや
努力賞	六年	北	富樫 恵美子
努力賞	三年	北	田村 由香里
努力賞	一年	原西	近藤 紗知
努力賞	四年	北	大石 亜紀
努力賞	二年	仲通り	牛田 みゆき
努力賞	三年	北	坂田 理恵
努力賞	三年	北	内田 聡
努力賞	四年	北	北川 由希菜
努力賞	四年	北	坪川 奈未
努力賞	四年	北	栢沼 真之
努力賞	四年	北	青柳 真世
努力賞	四年	北	清水 絵里香
努力賞	二年	間門	森井 由理子
努力賞	三年	東	荒井 美香
努力賞	五年	間門西	増尾 侑子
努力賞	五年	仲通り	熊沢 修司

### 【会員名簿の訂正】

第2町内会  
23組 加藤祭(誤) 加藤 繁(正)  
4組 正木卓雄 香川 555 ☎52-2017 転入  
12-1 白戸秀俊 香川 312-15 ☎54-4212 (正) 12-2組  
35-4 石井彰 香川 977-1 ☎58-4700 (正) 34-4組  
39組を39-1組、39-2組に分組  
39組はそのまま39-1組に。  
39-2組は、2、3戸居住あり。

第4町内会  
19-2組 卯野幸男 香川 1715-1 ☎51-5332 記入もれ

### 訂正

前号の一面の花壇整備の記事で、九月六日は、六月六日、子供会指導員の記事で、草花の植えとあつたのは、草花の植え替えの誤りでした。おわびします。

### 計報

大迫シズエ様 84才  
第二町内会34-1組 8月2日  
千地 カツ様 77才  
第二町内会7-12組 8月3日  
枝村みどり様 61才  
第二町内会31-15組 8月22日  
高井 マサ様 93才  
第一町内会2-11組 8月25日  
御冥福をお祈りします。

# 戦没者の慰霊祭と夏越祭を挙行



今年も恒例の戦没者慰霊祭と夏越祭が、八月十四日九時から諏訪神社で、おごそかに行われました。

十三日には、神社役員の方たちが、茅を刈って茅の輪を作り、祭典の準備をしました。

十四日には、戦争で亡くなられた方たちの御遺族や、自治会役員、神社役員が、先ず茅の輪をくぐって、邪神の心を和め、無病息災を願いました。

その後、昇殿してお祓をうけ、玉ぐしを奉納して、伝統的な行事を滞りなく終了しました。

# 香川下寺尾特定土地画整理事業

## ◇◇地域の活性化を期待して◇◇

香川北部区画整理事業についての説明会が、近隣自治会で開かれました。

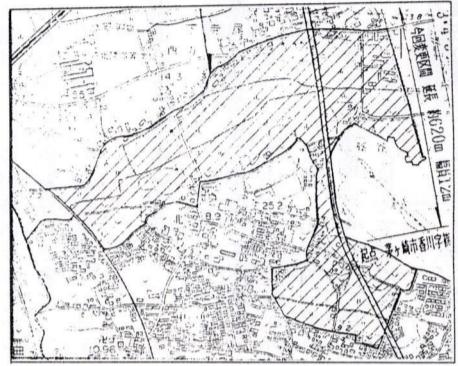
地図で大体の区画はおわかりと思いますが、香川ローンテニスと北陵高校前の道の間を東西に、駒寄川を挟んで相模線まで。一部南側へスリーハンドレッドゴルフ場と松風台に隣接し、一部ふくらむ地域です。

### ▲事業の主旨▼

この地域を市街化区域に編入して区画整理を計画的に行い、公共施設等の整った良好な住環境を有する市街地の形成を図りたい。

### 事業の概要▼

- 施行者 香川・下寺尾特定土地画整理組合
- 施行期間 平成5年度～12年度



- 計画戸数 1000戸 (3.2人/戸)
- 整備計画
  - ① 東海岸寒川線が計画決定されているので、これを基盤にして区画道路を効果的に整備する。
  - ② 親水公園、児童公園などを配

# 水飢饉後の水路完成

## 懐かしい屋号呼び

今回は、第三町内会での近にお住まいの、元市会議員でいらした亀井隆義さんのお話です。

亀井隆義さん 79才

大正2年11月3日生まれ

### 歴史をもつ香川

鎌倉時代は香川の庄として、古くから史誌にのり、そして香川村。鎌倉権五郎の子孫が、讃岐の天霧城主になったのは八百年も前のこと、先年香川県の文化財調査団の一行が来訪され、香川とのゆかりを丹念に照会された。観音寺市を中心に、香川姓をもつ人が、何千人もいることは、それ自体が香川県の歴史を物語っているとの説明があり、いづれ天霧城址を訪ね、

ゆかりの跡を確かめたいと願っていますが、所用に取紛れて、実現していない。ここに生まれ育った一人として、もう少し説明してみたい気持ちを抱いています。

―純農村のころ―

昭和十一年に起きた二・二六事件の決起将校が、軍法会議での陳述で、日本の農村が子女の身売りまである世相は貧困という病理にあり、その責任は政治家と財閥にあると主張した。

当時もアメリカに不況がくれば輸出の大宗、生糸は暴落し、製糸

- ③ 駒寄川の整備 (市の河川整備計画に基づく)
- ④ 雨水排水は地区内に調整池を三箇所設け小川に流す。等

▲今後の予定▼

区画整理組合設立 5年12月

工事施工 5年12月、11年12月

公共施設共用開始 11年12月

道路などの一般開放及び家屋建築などは13年1月以降

組合解散 13年3月予定

茅ヶ崎市は、都市計画に基づく法律手続きなどを行うことになっていきます。

① 公共整備に伴う地域の活性化

② 駒寄川整備により近辺の溢水を防ぐ。

などが挙げられています。

ただ、実際に工事が開始されると、それに伴う工事車輛の運行問題などが懸念されますが、工事



亀井隆義さん

工場は連鎖倒産に陥った。これは昭和三五年にかけて第二次世界経済恐慌で、農村を痛打しました。香川は九〇％が農業、ところが天水場での稲作は水飢饉に周期的に見舞われ、殊に昭和六年は作付不能になり、まずい外米を六百俵も共同購入して凌いだこともあり、降雨を祈って香川の二か寺で雨乞い題目、念仏もあった。

幸い祈りが通じて、作付可能となると、村の伝達員がメインの通りを法螺貝を鳴らして「ふつか正月」と大声でふれ歩いた。この

「正月」とは、二日間作業を一斉に休むということで、多分に恵みの雨への感謝という表現でした。こんな原始的宮農を脱出しようと町議会議が、新機から左岸農業用水路を引く計画に参入し、延々四〇キロの完成をみたのは、昭和十五年のことでした。

当時の子弟の就職先と言えば、平塚の海軍火薬廠・赤松町の岡田乾電池工場・相模鉄道の仕事要員などが主なもので、あとは商店員、大工さん、土木従業員といったところ、女子では旧市役所のそばにあった製糸の純水館の女子工員ぐらいでした。

―暮らしのあれこれ―

(一) 昭和初期まで京浜へ通勤する人は皆無で、東京は汽車で七〇分もかかり遠い所という印象でした。

(二) 懐かしい屋号呼び

今は余り使われないが、私の四代前に太右エ門という村役人を

した人がいて「たえんさん」と昭和初期まで呼ばれた。お隣りは坂の下だから「坂下」、その隣は岡右エ門家だから「おかえんさん」東隣りは「さだえんさん」古谷さんは「下駄屋さん」など、なつかしい時代でした。

○大正十年開通の相鉄は砂利事業。後尾に小さな客車一台、「おおい待って」とお婆さんが踏切で手をあげると十秒も待って乗せた運転士の浜ちゃんの顔。寒川道の左側に馬の引くトロッコが走っていて、子供を空車に乗せてくれた思い出。発句や大弓の試合に矢運びに使われ、お小遣を貰ったこと。大正初期自転車有三台しかなかった事。魚屋の権さん、大原のひびり獲りなど思えば遠い昔となりました。

# 金婚式 おめでとうございます

## —すばらしい年を重ねられて—



元町内会長など自治会で活躍されていました。奥様も老人会でご活躍でしたが、今はご主人のお世話で忙しくしていらっしゃいます。

第1町内会 (8組) 高橋 誠様 マツ様



香川に住まわれて四十年余り、永く自治会などで活躍。香川の歴史の一部を自作の紙芝居に残されたり、絵を描かれたりして、奥様と仲良く過ごされています。

このほか三組の方々が、めでたく迎えられました。

第2町内会 (35-2組) 杉山光次(院一)様 都美子様

業者が決まった時点で、その都度説明会を開き、なるべく近隣住民に迷惑がからないよう、最善を盡くしてくださるとのことです。

自然環境を残して欲しいという声も聞かれますが、できるだけ緑を多くして頂くことを願い、地域の発展を楽しみに、今後を見つめていきたいと思います。



ご静養中のご主人をいたわりながら、奥様は、畑へ出られたり、ご趣味の日本舞踊を楽しんでおられます。

第1町内会 (10組) 義弘様 静江様



香川にいらして十年。お二人で静かに過ごしています。

奥様は、老人会で役を引き受けられ、カラオケを楽しまれています。

第2町内会 (6-3組) 根岸 敏様 千代様

# さーくる紹介

## 香川女子ソフトクラブ



(ソフトクラブの人たち)

香川女子ソフトクラブも発足して十年を過ぎました。

今年も対外試合で、一勝するところが、みんなの目標です。毎週土曜日、午後二時から香川小学校のグラウンドで練習しております。一度見学にきませんか？お待ちしております。

連絡先 横山 ☎53〇一七五  
小林 ☎51一四一六

### 原稿募集

テーマ「私の宝物」  
で原稿を募集します。  
テーマ以外でも結構です。皆さんの広報です。皆さんの広報です。一人でも多くの方のご投稿をお待ちします。

### 母の決断

裕 百合子

前略 すぐ隣の町に住む貴女に手紙を出すなんて、そろそろ姉さんも呆れ始めてきたか……などと、陰口を云われそうなきがしますが、話では伝え切れないものが、手紙では表現出来るような思いで、ペンを走らせています。もっとも、私も六十を半ばを越し、先が短かくなった年齢のせいかも知れませんが……。

母に贈る言葉  
妹への手紙より

昭和二十年三月十日未明から始まった東京下町の米軍機の空爆により、家の防空壕にいては危険となり、兼ねてより避難場所になっていた小名木川橋のガード下に避難しました。最初に避難するのは、母・私・貴方でした。母は二才になる貴方をおぶってねんねこをはおり、私は家の重要書類や、

わたっていた時代でしたから、馬方も馬を避難させにきたのでしよう。併しすでに人、人でしたから、途方にくれていました。間もなく今来た道を戻って行きました。私は怖くなって母にしがみつきながら「大丈夫かね」と何度も聞いたものです。その時です。母は私の手を強く引っ張って、「砂町のお店の方へ行く」と歩き始めました。砂町には父が店を持っていましたので、母にしてみれば何度か通った道ですから、とっさにそう思ったのでしよう。有無をいわせず、私の手を引っ張る、それは強い力でした。真っ暗の中を小名木川に沿って歩くんですから、怖いばかりです。どのくらい歩いたのでしょうか。長く歩いたようない感じがしましたが、案外短い時間であったのかも知れません。突然私達の目の前に何かが「ズドン」と音を立てて落ちてきました。それでも一メートルは離れていたのでしょうか、不発爆弾だったようです。突然目の前がパッと明るくなり、附近に落ちた焼夷弾が炸裂し燃え始めました。

「もう終るか」とそう思った時何と幸運でしょう。丸八橋が見えたのです。九死に一生を得た思いで、走るように橋を渡りました。橋の両側の土手にはすでに大勢の人が避難してました。母は店の方へ行くとしたのですが、警防団員の制止に、川端にしゃがみ込み、持ってきた敷布団を頭から被りました。先刻の焼夷弾で川の向いにある大島神社が燃え始め、その火の粉が川を越えて飛び散ってきて、それは大変でした。悲鳴を上げるもの、怒鳴るもの、日蓮宗の人達でしょうか、デンプクデンドンと叩きながらお題目を唱えていました。と、その中、

**図書館**  
だより  
新刊書の紹介

- ◎人生の達人が説く生きる知恵 朝日新聞社編
- ◎娘のいいぶん 細川 珠生
- ◎手作り食品&薬酒 青木良子編
- ◎人を傷つける心 大淵 憲一
- ◎森と草花のステンスル
- ◎知っておきたいお金の魔力 ホークスみよし
- ◎六十歳から強く生きる 若菜 俊文
- ◎友達のできる子に育てる 松本 康夫

夏霧の雨と替り館の灯  
一面の霧で何も見とせない風景が、いつか雨に変わって館をとりまく景色も覚えて来た。灯の点った館のたたずまいが見える。

処でも見られる壮大な景色だ。夕方が佳い。  
ままことの飯はいつでも赤のまま戸を叩く秋の簾となりたり  
もう簾の用をしていないが、

### 俳句 茅花会

平塚司郎選

まだ外されていないので、風のたびに戸に当って音を立てている。真夏には、きちんと陽を遮って役に立った簾だが、季節の変化には勝てない。  
流星を見し夜の枕うらがえす

青鷺も小鷺も霧の相模川  
火花爆ず群衆蒼く揺れてをり  
みだれ萩風つまずく坂の街  
蹴躰の指で辞書ひく尊徳忌  
大夕焼遠き稜線の如し  
秋の蝉残りの日々を鳴き尽す  
片方の海にかれる秋の虹  
新盆やひとりて偲ぶ亡母のこと

「助かった。助かったのだ。」  
その朝は少し寒日でしたが、快晴で、碧い空が眩しいばかりで、寝不足の目には痛く、正面には見られませんでした。  
それにしても、貴方は泣き声一つたてず、本当におとなしい児でした。あとで貴方にその時の事を聞いた時、何も覚えていないとの事でしたから、やっぱり母の背で寝ていたのかも知れませんか。  
今私達がこうして安穩に暮らしているのも、最初の避難場所を出た母さんの決断があったればこそなのです。ガード下に避難した人は、全員焼け死ぬか、溺れ死んだのですから改めて、母さんの勇気ある行動に感謝しましょう。  
では又。 さようなら